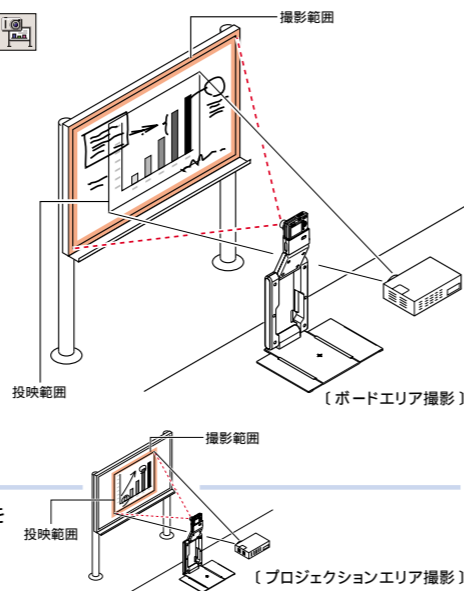


ホワイトボード上の情報を残す

ボードエリア撮影

ホワイトボードなどの投影画面に手書きで加えた情報が撮影・合成できます。

- 1 [プレゼンテーション] をクリックし、[ボードエリア撮影] をクリックする。
- 2 カメラ部をホワイトボードの方向に向ける。
- 3 ボードエリア撮影ウィンドウのWide [Wide] / Tele [Tele] で撮影範囲を調節する。
- 4 ボードエリア撮影ダイアログ上の[シャッター] をクリックする。



ソフトウェア取扱説明書を参照

書き加えた情報が投影範囲内の場合は、[プロジェクションエリア撮影] をクリックし、投影範囲内で撮影をすることもできます。

ソフトウェア取扱説明書を参照

パソコンに保存した画像を投影

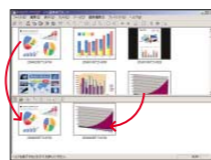
PC画像表示モード

- 1 [PC画像表示] をクリックする。
パソコンに取り込んだ画像ファイルが一覧表示されます。
- 2 投影したい画像を選んでダブルクリックする。
[全画面表示を閉じる] をクリックするとプレビュー一覧に戻ります。



PC画像表示モードの便利な機能

画像を投影順にまとめたいとき
プレビュー一覧エリアから
プレイリストエリアに画像を
ドラッグ&ドロップします。



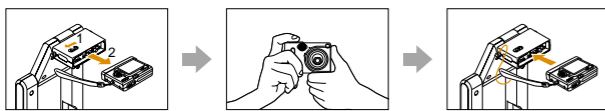
ソフトウェア取扱説明書を参照

カメラ部で撮影した画像を投影

カメラ画像表示モード

YC-400は、カメラ部で撮影した画像をスタンドに装着するだけで、投影できます。
パソコンに取り込む必要がありません。

- 1 カメラ部で撮影後、スタンドに取り付ける。



- 2 [カメラ画像表示] をクリックする。

カメラ部で撮影した画像ファイルが
一覧表示されます。



- 3 投影したい画像を選んでダブルクリックする。

ソフトウェア取扱説明書を参照

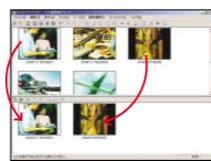
カメラ画像表示モードの便利な機能

斜めから撮影した画像を修正したいとき
カメラ部のビジネスショットモードで撮影した画像は、「正面撮影自動処理」により自動で補正されます。



画像補正の微調整は手動でも行えます。

画像を投影順に
まとめたいとき
プレビュー一覧エリアから
プレイリストエリアに画像を
ドラッグ&ドロップします。



ソフトウェア取扱説明書を参照

MULTI PJ CAMERA

YC-400 クイックガイド (マルチPJスタイル用)

「マルチPJスタイル」とは、書画カメラやスキャナなど、PJカメラソフトウェアのすべての機能を使うことができる起動方法です。本ガイドをお読みになると、PJカメラソフトウェアでできることを、ひと通り知ることができます。



1 インストール

付属のソフトウェアをパソコンにインストールする。



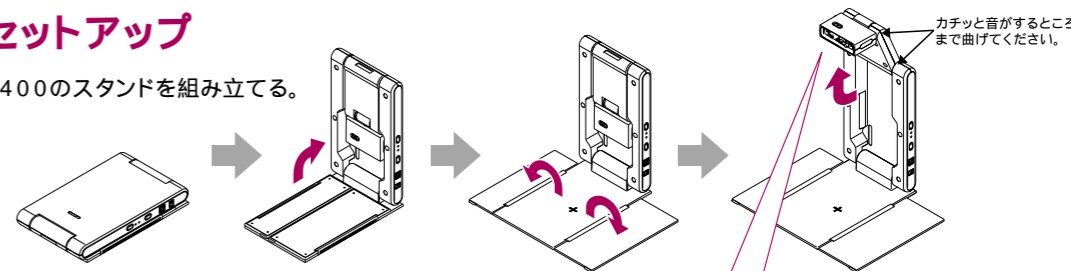
YC-400 取扱説明書を参照



再起動後、タスクトレイにYC-400ソフトウェアスターターアイコンが表示されているのをご確認ください。

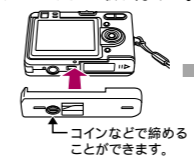
2 セットアップ

- 1 YC-400のスタンドを組み立てる。



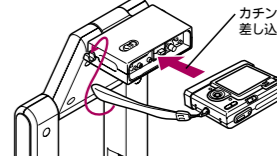
カメラ部は、
スタンドから取り外して
デジタルカメラとして
使用できます。

カメラ部に電池を入れ、
ブラケットを取り付ける。



- 2 カメラ部をスタンドに取り付ける。

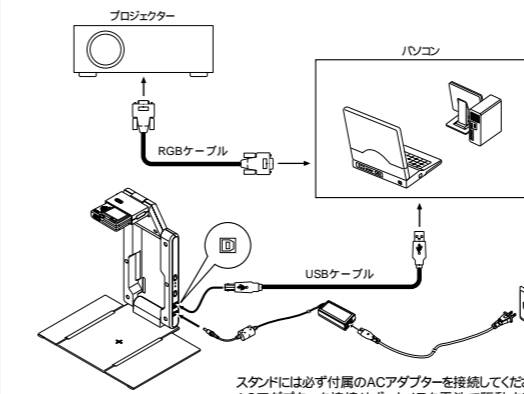
カチンと音がするまで
差し込んでください。



YC-400 取扱説明書を参照

3 配線

YC-400をプロジェクター、パソコンと接続する。
付属のUSBケーブルでパソコンと接続してください。



スタンドには必ず付属のACアダプターを接続してください。
ACアダプターを接続せず、カメラを電池で駆動すると、
電池の消耗により撮影できなくなる場合があります。

YC-400 取扱説明書を参照

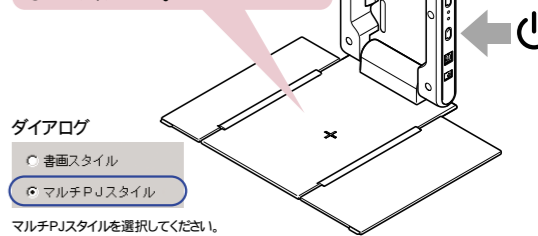
*RGBケーブルはYC-400には付属しておりません。

4 ソフトウェアの起動

スタンドの電源ボタンを押すと、ソフトウェアが
起動し、ダイアログが表示されます。

すべての操作はソフトウェア上
にて行います。

自動で位置・フォーカス調整が
行われます。書画台には何も置か
ないでください。



ダイアログ

書画スタイル

マルチPJスタイル

マルチPJスタイルを選択してください。

YC-400 取扱説明書を参照

ツールバーは、ポインタをパソコン画面の上部に移動すると表示されます。

ホワイトボード上の情報を残す
書類や立体物を投映
パソコンに保存した画像を投映
カメラ部で撮影した画像を投映
画像データとしてパソコンに保存

各ツールバーボタンの機能

終了、シャッター、立体を撮影対象にする、小さい用紙を撮影対象にする、正面撮影補正をする、全面表示 / 全面表示を閉じる、次を表示、前を表示、傾度補正、輪郭指定、左90度回転、右90度回転、全体表示、スクロール、拡大、縮小、画像の上書き保存、フロッピーディスク、カメラ画像表示、PC画像表示、ホワイトボード撮影、フロッピーディスク撮影

書画カメラモードでは、「書画モニター表示」になります。

被写体の置き方と設定 投映したい書類などは、[+]マークが隠れるように置いてください。

	書画カメラモード			スキャナモード		
	正面撮影補正をする	小さい用紙を撮影対象にする	立体を撮影対象にする	小さい用紙を撮影対象にする	立体を撮影対象にする	
書類 新聞紙など	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	書類 新聞紙など
名刺など	ON	ON	OFF	ON	OFF	名刺など
立体物	—	OFF	ON	OFF	ON	立体物

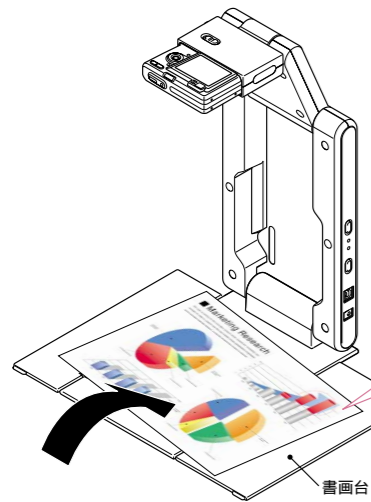
被写体に合わせてボタンをクリックする。

書類や立体物を投映

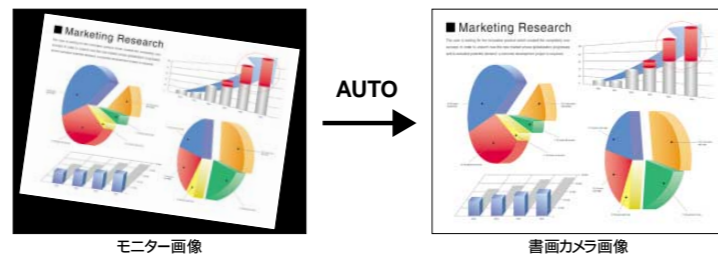
書画カメラモード

1 書類を書画台に置く。

傾き・明るさ・解像度などが自動補正され、スクリーンに投映されます。



書類をラフに置いてもしっかりと見やすい画像に補正。



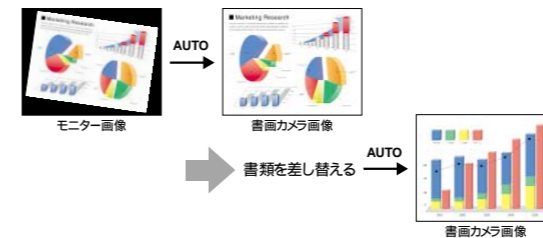
被写体に光が十分当たるように設置してください。
被写体にYC-400のスタンドの陰が映らないようご注意ください。
投映したい書類などは、[+]マークが隠れるように置いてください。
方が、正しく補正されない場合は、違う位置に置き直してください。

ソフトウェア取扱説明書を参照

投映中の便利な機能

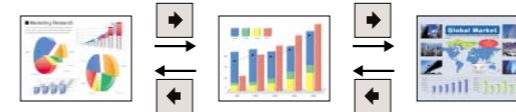
大量の書類を投映するとき

書類を差し替えるごとに、新しい書類の書画カメラ画像に自動で切り替わります。



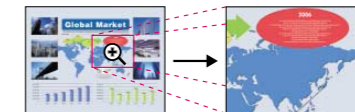
一度投映した画像を再び投映したいとき

投映画像は、[前を表示]、[次を表示] をクリックで再度投映できます。



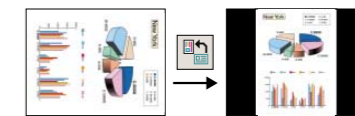
小さい文字を拡大したいとき

[拡大] をクリックします。縮小したいときは、[縮小] をクリックします。[スクロール] で画像のスクロールもできます。



画像を回転させたいとき

[左90度回転]、[右90度回転] をクリックします。



投映中の画像を保存するには

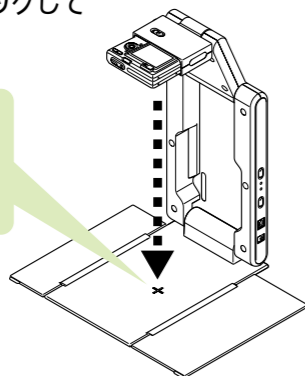
[画像の上書き保存] をクリックして、ファイルの保存先とファイル名を指定します。

画像データとしてパソコンに保存

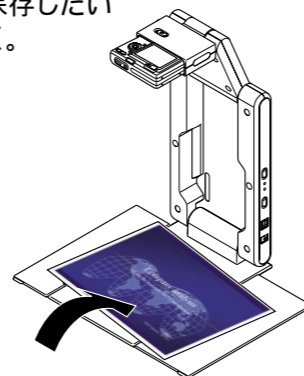
スキャナモード

1 [スキャナ] をクリックしてスキャナモードにする。

自動で位置・フォーカス調整が行われます。
書画台には何も置かないでください。

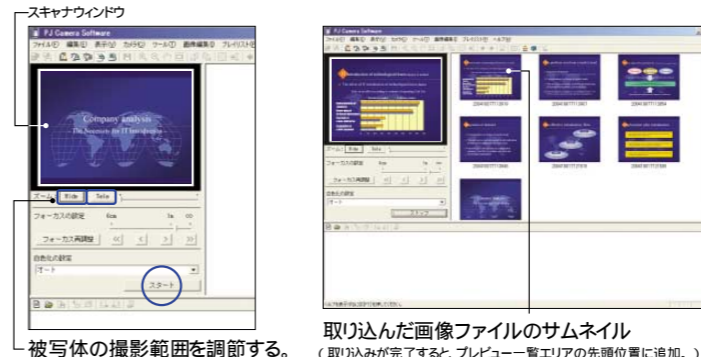


2 書画台に保存したい書類を置く。



ソフトウェア取扱説明書を参照

3 スキャナウィンドウの[スタート] で撮影開始。原稿を差し替えるごとに自動撮影します。



4 自動実行を終了するには、[ストップ] をクリックする。

